

スタッフの声記載依頼

題名	令和3年3月
本文	<p>東日本大震災から10年になりました。テレビの特集を見ると、まだまだ被災地の復興が進んでいないことを実感させられました。また、東北宮城・福島には今月も震度5強を観測しています。今後も、しばらくは地震の心配が危惧されます。地震や津波、台風といった自然災害。想定される被害や事前に発表される情報の意味を正しく理解して、日ごろから十分な備えをすることが重要です。</p> <p>先日は、災害に備えて「車中泊」の体験を行った。というニュースを見ました。このテレビでの内容は、「車中泊のコツ」少し紹介してみます。</p> <ul style="list-style-type: none">○床にマットを敷いたり重ね着をしたりして体を冷やさないこと。○こまめに体を動かすなどしてエコノミークラス症候群を防ぐ。○着替える際に体を隠すことができる大きなポンチョや、避難所で衣類を洗濯するのに使う洗濯板の付いた袋などのグッズが役立つ。○寝る時には、シートを倒して寝袋を広げる。などでした。 <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px;"><p>スマートフォンに「NHK ニュース防災」「新潟県防災ナビ」などのアプリがあるので紹介します。「NHK 防災」には、災害情報・警報注意報・避難情報・生活防災・備える防災などが、「防災ナビ」には、防災情報・危険度マップ・備える防災・安否登録などについて確認できるようになっています。また、新潟市には新潟市危機管理防災局 危機管理課より出されている「新潟市防災メール」というものがあります。今後、2021年4月1日より配信メールアドレスが変更になりますので参考にどうぞ。「niigata-bosai@bosai.city.niigata.lg.jp」です。(現在登録中の方は自動更新される予定です)</p></div> <p>さて、シリーズ認知症。久しぶりに、認知症はどんなものだったでしょうか。おさらいをしましょう。</p> <p>認知症とは、様々な原因で脳の働きが悪くなって記憶障害を中心に判断力や遂行力などが低下し、日常生活にまで支障が出る状態で、通常の老化による衰えとは違います。体験の一部を忘れるのは普通のもの忘れといえますが、体験自体を忘れてしまう場合は認知症が疑われます。早期発見・早期治療が大切と言われています。完全に治癒することが難しい病気で、進行を遅らせることが重要です。</p> <p>今回は、「認知症の対応②」です。</p> <p>置き忘れや、しまい忘れの自覚がなく「盗まれた」と思い込むことがあります。財布や通帳の置き場所を忘れたという自覚が持てず、「盗まれた」などの被害妄想が現れることがあります。</p> <p>こんなときは、「財布がない」「お金を盗まれた」という発言に対して、「また置き忘れたんでしょ！」と責めない・怒らないこと。「それは大変！」と共感して一緒に探してあげてください。そこで注意、「ここにあったよ」と教えないこと。本人が見つけ出さないと、「隠した」と思い込んでしまうことになります。「私がここを探すから、あそこを探してみてね。」と誘導してみる。見つかったら、一緒に喜ぶことも効果的です。なかなか、難しいものですね。</p> <p><訪問看護ミニ知識> 退院前に病院でカンファレンスを行う意味は？</p> <p>訪問看護師は、利用者が入院している病院へ出向き、退院前に在宅へスムーズに移行できるように「退院前カンファレンス」や「退院時共同指導」を行います。参加者は訪問看護師の他、利用者および家族・医師や看護師・医療相談員・薬剤師・栄養士・リハビリスタッフ・ケアマネジャー・退院後に利用する予定のデイサービス等のサービス事業所等が集います。入院中の経過や、退院後どんな支援が必要かを話し合</p>

い、その結果を文書にして、利用者および家族へ渡します。記載する内容は、相談場所と日時・利用者氏名・会議の出席者・共同指導内容の要点・退院予定日・訪問看護の初回訪問日と内容・退院後の医療機関や緊急時の対応・その他サービスの活用・共同指導を行った訪問看護師の氏名などです。



利用者様宅のお庭の雪割草です。とても可愛くて、写真をパチリ！

備考 **訪問看護・訪問リハビリに興味がある、長期に渡り訪問の仕事をしてみたい方、ご一報ください。見学可能です！ご自宅で体調や動きでお困りの方、訪問看護や訪問リハビリを受けたい方、ケアマネジャーさん、お問い合わせお待ちしております。連絡先：025-362-0307（訪問看護直通）**

病棟名

訪問看護 ST